

<カリキュラム・マネジメント推進のポイント>

タテ・ヨコ・ナナメの関係で教育課程をデザイン



社会に開かれた教育課程をデザインするためには、社会のニーズや人的・物的資源を俯瞰し、タテ・ヨコ・ナナメの関係で包括的に捉えましょう。



授業づくりとカリキュラム・マネジメントは関係しているんですね。学校全体の目標を共有して教科の授業を考えたいです。

各教科等をヒト・モノ・コトでつなぐ



カリキュラムを考える際に出来上がった人間関係が、授業づくりにも生かれます。研究主任等のメンターとなる人材を適所に位置づけ活躍してもらいましょう。



先生方と話し合い、考えたことで各教科の授業を貫く力が見えてきました。問題解決のコツを、理科の先生に訊いてみようと思います。

校内・校外のリソースでつなぐ



社会を知り、実生活とつなぐ学習は校内・校外の人的・物的資源を有効に活用することで成り立ちます。誰がどのような機関と連携できるか考えましょう。



校外の方や機関と連携をしていると、視野が広がりました。これを授業づくりに応用してみると、生徒に力が付く主体的な授業ができる気がします。

豊かな研修文化の醸成



人は、生涯にわたり学び続けることで成長します。教師も例外ではありません。OJTとともに校内外で適切な研修を積み重ね、成長へとつなげましょう。



校外・校内研修のバランスが必要ですね。先生方が主体的に学び合うと授業が変わる。カリキュラム・マネジメントの発想で研修を見直したいです。

主な参考資料

- 教育課程企画特別部会 論点整理（平成27年8月 文部科学省）
- 広島版「学びの変革」アクション・プラン（平成26年12月 広島県教育委員会）
- 『「これからの時代に求められる資質・能力の育成」とは アクティブな学びを通して』高木展郎（2016 東洋館出版）
- 『「カリマネ」で学校はここまで変わる! 続・学びを起こす授業改革』村川雅弘・野口徹・田村知子・西留安雄（平成25年 ぎょうせい）

主体的な学びは カリキュラム・マネジメントで

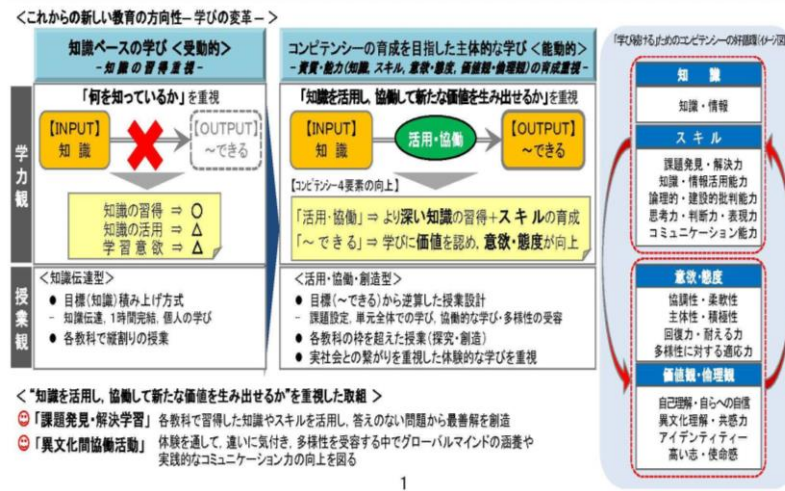
広島県立教育センター

広島県立教育センター

〒739-0144 広島県東広島市八本松南一丁目2番1号
TEL (082) 428-2631 FAX (082) 428-7100
<http://www.hiroshima-c.ed.jp/>
E-mail:center@hiroshima-c.ed.jp

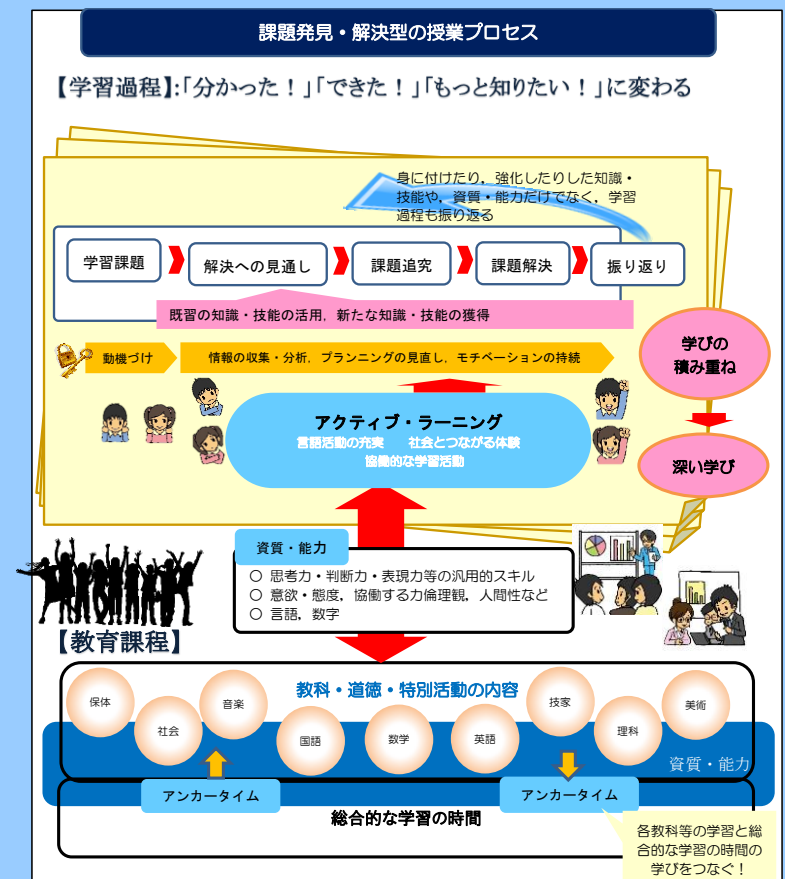
広島版「学びの変革」アクションプランの推進

これからの社会で活躍するために必要な資質・能力を育成するにはこれまでの「知識ベースの学び」に加え、「コンピテンシーの育成を目指した主体的な学び」を促す教育が大切です。



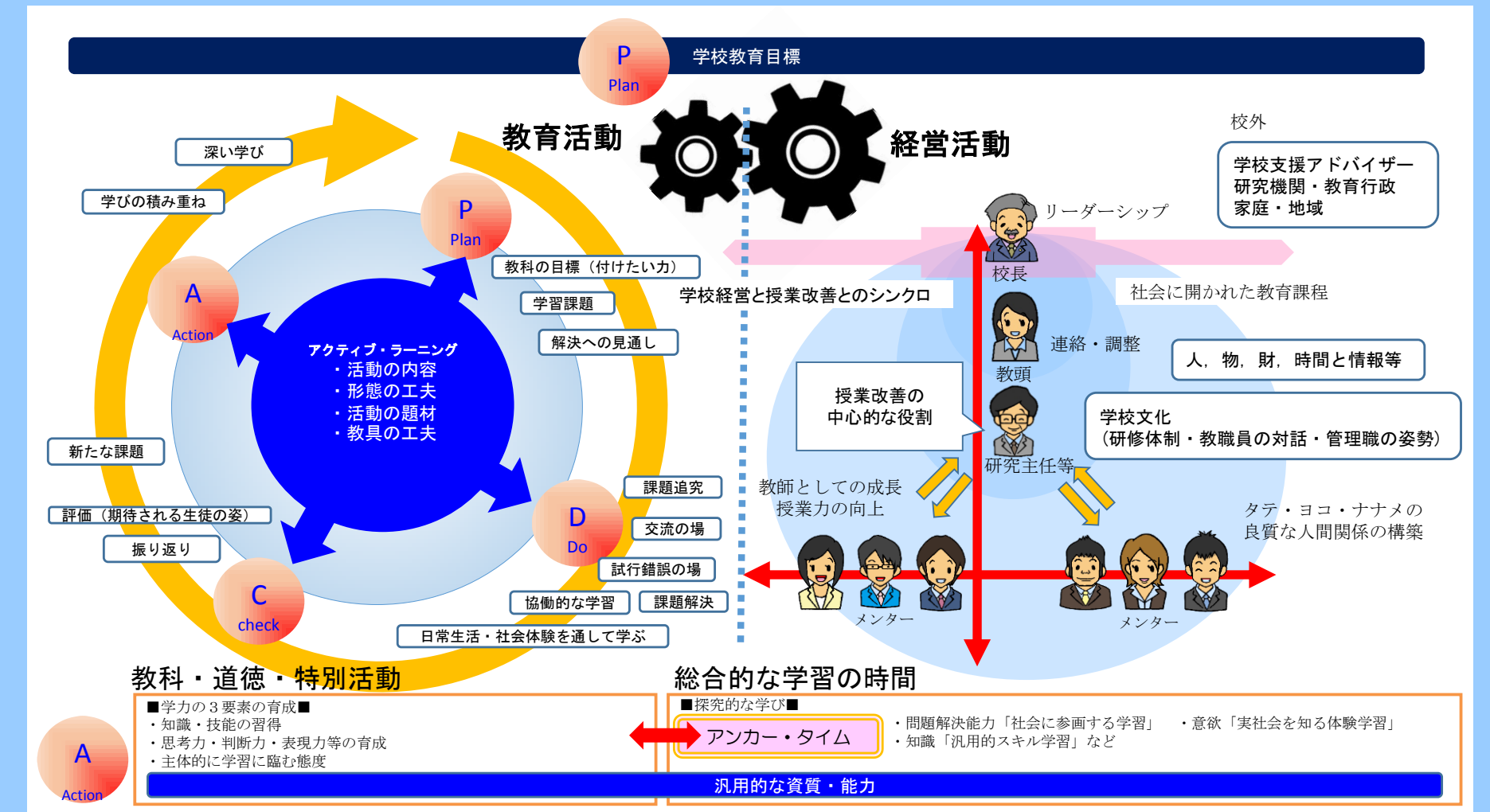
アクティブ・ラーニングを取り入れた学習モデル

学校全体で取り組むためには、「課題の発見・解決に向けた主体的・協働的な学び」となるよう、「アクティブ・ラーニング」を取り入れた学習モデルを作り、実践しましょう。

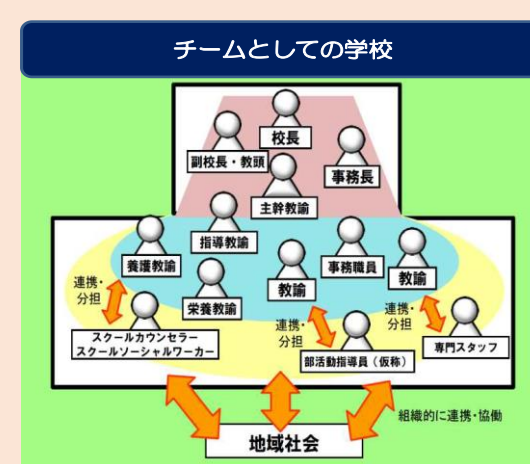
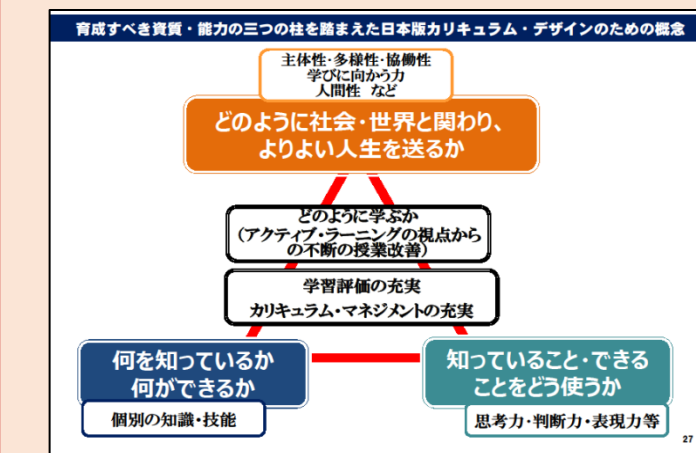


教育活動と経営活動を連動させるカリキュラム・マネジメントモデル

学校全体で各教科の内容の深い理解や資質・能力の育成を図るためにも、教科の枠を乗り越えて教育活動の改善を行い、学校全体がチームとして機能するよう組織力を高めることが大切です。教育活動と経営活動を連動させるカリキュラム・マネジメントを行いましょう。



□教育課程企画特別部会 論点整理(平成26年8月 文部科学省)より□



授業づくりも、カリキュラム・マネジメントも、考え続けることが大切!

「生徒が主体的に学ぶ授業づくり」も、「カリキュラム・マネジメント」も、タテ・ヨコ・ナナメの良質な人間関係を生かして、考え続けることが大切です。ともに考え続けることで、新しいつながりや絆が生まれるはずです。